

企画調整局

一般会計要求総額 7,106百万円
(対前年度+45.0%)

【令和5年度 予算要求の方針】

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2~6年度)に基づく、地方創生の取組を着実に推進し、新しい時代の変化に対応した政策を進めます。また「SDGs推進」「公共施設マネジメント」といった市の重要政策を企画・立案し、全市的に推進するとともに、総合調整機能を発揮しながら、各局の関連施策の実現を支援していきます。さらに、市制60周年を記念した事業を推進します。

【令和5年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業 拡充：拡充事業 継続：継続事業

1 基本構想・基本計画策定、地方創生・SDGsの推進

要求額 6,531百万円(対前年度+47.7%)

- 新市長の政策及び社会経済状況の変化などを踏まえた、新たな基本構想・基本計画を策定します。
- 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2~6年度)に基づき、地方創生の取組を着実に推進します。まちの新しいイメージ「New U」を活用した都市ブランディングにより、地域経済活性化の担い手である若い世代を中心とした定住・移住の促進を図ります。
- 第2期北九州市SDGs未来都市計画(令和3~5年度)に基づき、SDGsの普及・啓発~人材創出を進めます。SDGsを原動力に地域経済の活性化を図るため、先進的な企業を認証する制度を構築するとともに、SDGsリーディング企業の創出に向けた財政的支援を実施します。

新規	基本構想・基本計画策定事業	新規	「希望のまちプロジェクト」支援事業
拡充	北九州市わくわく地方生活実現支援事業	拡充	関係人口による地方創生加速化事業
拡充	ふるさと寄附金促進事業	拡充	SDGsリーディング企業創出事業
拡充	公立大学法人北九州市立大学運営事業	拡充	公立大学法人北九州市立大学施設整備事業
継続	定住・移住促進事業	継続	新しい街のイメージ創造プロジェクト
継続	SDGs推進事業	継続	世界遺産改修事業

2 多文化共生・国際交流の推進

要求額 451百万円(対前年度△3.0%)

- 地域における多文化共生を推進するため、外国人市民が安心して暮らせる生活・防災情報の発信や地域との交流支援などの環境整備を行います。
- 駐日外国公館へのプロモーションやSNSによる北九州市の魅力発信等により、北九州市の認知度向上と海外とのネットワーク強化を図ります。

拡充	外国人との共生社会の実現に向けた環境整備事業	拡充	海外とのネットワーク強化事業
継続	KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY 体験支援事業		

3 公共施設マネジメントの推進

要求額 13百万円(対前年度△6.2%)

- 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、選択と集中によるメリハリのあるマネジメントを推進するとともに、実行計画の改訂に向けた調査・分析に取り組みます。

継続	公共施設マネジメント推進事業
----	----------------

4 市制60周年記念事業の推進

要求額 111百万円(対前年度+100%)

- 令和5年2月10日に市制60周年を迎えたことを記念して、「みらいつなぐ北九州」をキャッチフレーズに、1年間にわたり「市制60周年記念事業」を推進します。

継続	市制60周年記念事業
----	------------

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。

令和5年度企画調整局予算要求方針

1 令和5年度企画調整局予算要求総括及び方針

(1) 令和5年度企画調整局予算要求総括

【一般会計】

職員数 107人 (令和4年10月1日現在)
(うち正規+再任用フル 107人)
(うち再任用短時間 0人)

令和5年度要求総額 7,106,323千円
(令和4年度予算額 4,900,533千円)
前年度比 +45.0%

(2) 令和5年度企画調整局予算要求の方針

- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2～6年度)に基づく、地方創生の取組を着実に推進し、新しい時代の変化に対応した政策を進めます。
- この他に「SDGs推進」「公共施設マネジメント」といった市の重要政策を企画・立案し、全市的に推進するとともに、総合調整機能を発揮しながら、各局の関連施策の実現を支援していきます。
- 本年2月に市制60周年を迎えたことから、記念事業を推進します。

1. 基本構想・基本計画策定、地方創生・SDGsの推進

- 新市長の政策及び社会経済状況の変化などを踏まえた、新たな基本構想・基本計画を策定します。
- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2～6年度)に基づき、地方創生の取組を着実に推進します。
アフターコロナで人流が活性化するこの機を逃すことなく、まちの新しいイメージ「New U」を活用した都市ブランディングにより、地域経済活性化の担い手である若い世代を中心とした定住・移住の促進を図ります。
- 第2期となるSDGs未来都市計画(令和3～5年度)に基づく事業や、普及・啓発～人材創出を進めます。
さらに、SDGsを原動力に地域経済の好循環を生み出すため、先進的な企業を認証する制度を構築するとともに、SDGsリーディング企業の創出に向けた財政的支援を引き続き実施します。

2. 多文化共生・国際交流の推進

- 地域における多文化共生を推進するため、外国人市民が安心して暮らせる生活・防災情報の発信や地域との交流支援を行います。
- 駐日外国公館へのシティプロモーションや、SNS等を活用した情報発信により、新たな交流の基盤を構築し、海外とのネットワークを強化します。
- 北九州市の児童生徒の英語学習意欲の向上の一助として、THE OUTLETS 北九州の体験型英語教育施設「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY」を体験できるよう支援します。

3. 公共施設マネジメントの推進

- 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、選択と集中によるメリハリのあるマネジメントを推進するとともに、実行計画の改訂に向けた調査・分析に取り組みます。

4. 市制60周年記念事業の推進

- 本年2月10日に市制60周年を迎えたことから、「みらい つなぐ 北九州」をキャッチフレーズに、1年間にわたり、「市制60周年記念事業」を推進します。

2 重点的に取り組みを行いたい主なもの

1. 基本構想・基本計画策定、地方創生・SDGsの推進

新規 ・基本構想・基本計画策定事業 56,000千円

北九州市の基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プランは、策定から10年以上が経過しており、新市長が就任したことから、新市長の政策及び社会経済状況の変化などを踏まえた、新たな基本構想・基本計画を策定する。

・定住・移住促進事業 35,100千円

若い世代の移住促進に向けて、居住体験はもとより、テレワークやワーケーションも試すことができる「お試し居住」の充実や、SNSでの移住情報の発信強化を図る。

拡充 ・北九州市わくわく地方生活実現支援事業 39,200千円

国の制度を活用し、東京圏からの移住者に対して最大100万円の移住支援金を支給する（さらに、18歳未満の子ども加算を1人につき100万円（30万円から増額）を支給し、子育て世帯の移住促進を強化する）。

拡充 ・関係人口による地方創生加速化事業 79,000 千円
国の「地域活性化起業人」制度を活用し、首都圏等からデジタル技術、マーケティングといった専門分野の企業人材を北九州市の関連部局に登用し、地方創生の取組を加速させる。(R4:3人分→R5:8人分)

・新しい街のイメージ創造プロジェクト 10,000 千円
北九州市の新しい都市イメージ「New U」や、クリエイティブディレクターを活用し、若年層をターゲットに様々な角度から都市の魅力を発信する事業を展開する。

拡充 ・ふるさと寄附金促進事業 1,837,607 千円
「ふるさと北九州市応援寄附金（ふるさと納税）」について、北九州市の魅力ある特産品や体験型の返礼品の掘り起こしや磨き上げを行い、市外居住者へのPRを積極的に実施することで、地域経済の活性化や寄附件数・寄附金額の増に取り組む。

拡充 ・SDGsリーディング企業創出事業 147,685 千円
SDGsを原動力とした地域経済の活性化を図るため、優れたSDGs経営を実践する企業を対象とした北九州市独自の認証制度を構築・運営する。併せて、社会課題解決に向けて企業が取り組むリーディングプロジェクトに財政的な支援を行う。

・SDGs推進事業 23,400 千円
SDGsクラブの会員をはじめとして、市民や企業、学校等の多様な主体の活動をサポートするため、活動に必要な情報や交流機会の提供、新たなプロジェクトに対する伴走支援を実施する「北九州SDGsステーション」を運営する。

新規 ・「希望のまちプロジェクト」支援事業 40,000 千円
令和4年度の「希望のまちプロジェクト」応援クラウドファンディングへの寄附金等を活用して、暴力団総本部事務所跡地に整備される地域共生社会の拠点施設の整備費の一部を支援する。

・世界遺産改修事業 200,000 千円
世界遺産の構成資産である旧鍛冶工場は、耐震性の不足や老朽化による腐食が顕著に進んでいるため、耐震補強及び外観整備工事に係る費用を補助し、構成資産の保護・保全を図る。

拡充 ・ 公立大学法人北九州市立大学運営事業（標準運営費） 2,240,000 千円

北九州市の地方創生に資する大学の実現に向けて、大学運営の基盤的資金である運営費交付金について、真に必要な費用の確保を図る。

拡充 ・ 公立大学法人北九州市立大学施設整備事業（老朽化対策） 509,471 千円

築40年超の施設等を多く抱える北九州市立大学では、外壁落下の恐れ（D判定）や、実験設備の経年劣化による教育・研究への支障等、老朽化による課題が深刻化しているため、緊急度の高いものについて早急に対応する。

2. 多文化共生・国際交流の推進

拡充 ・ 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備事業 6,500 千円

外国人市民が地域の一員として暮らし、社会参加を通じて活力を生み出す「多文化共生」のまちづくりを推進するため、地域コミュニティにおける交流事業や生活情報の提供を行う。また、留学生支援の基礎資料となる「留学生実態調査」を実施する。

拡充 ・ 海外とのネットワーク強化事業 7,110 千円

駐日外国公館へのシティプロモーションや、中国の「微博（ウェイボー）」など、各国で人気のあるSNSを活用し、北九州市の更なる認知度向上と海外とのネットワークの強化を図る。

・ KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY 体験支援事業 126,000 千円

英語でコミュニケーションをとる楽しさや必要性を体感し、英語学習意欲の向上のきっかけとするため、THE OUTLETS 北九州の体験型英語教育施設「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY」を2年間で市内の小3～中3の児童生徒全員が体験できるよう支援する。

（R4：小6～中3、R5：新小3～6）

3. 公共施設マネジメントの推進

- ・公共施設マネジメント推進事業 7,434 千円
「公共施設マネジメント実行計画」を着実に進めるとともに、
実行計画の改訂に向けた調査・分析を行う。

4. 市制60周年記念事業の推進

- ・市制60周年記念事業 40,000 千円
市民とともに市制60周年を祝い、先人が築かれた今日までの功績に感謝するとともに、北九州市の自然・文化等の魅力、そしてSDGsやカーボンニュートラルの実現に向けた先進的な取組等を発信すべく、各局と連携しながら「市制60周年記念事業」を推進していく。
市民や団体等が自ら企画・実施する取組やイベント等に対し事業経費を補助する市民公募事業を実施する。